CAMBRIDGE

Cambridge International AS & A Level 科目紹介

English General Paper（英語論理・表現) (ASレベルのみ) 8021[1]

このシラバスを選ぶ理由

Cambridge International AS Level English General Paperは、読解力、論証力、意見を提示する力、そして首尾一貫した説得力のある英語を書く力など、さまざまな場面で活用できる汎用的なスキルを育成します。学習者はこれらのスキルを幅広い教科に応用することができ、高等教育への進学や就職に向けた準備としても役立てることができます。

この科目では、学習者が次のような資質を身につけられるよう支援します：

- **自信のある学習者**：学際的な課題について説明・分析・評価し、自らの主張を伝えることができる
- **責任ある学習者**：多様な情報源から幅広い知識や意見を求め、自主的に学習を進めることができる
- **内省的な学習者**：多様な考え方について考察し、それらを自身の論述に取り入れることができる
- **革新的な学習者**：テーマを探究し文章で考えを表現する中で、独自の発想や表現スタイルを生み出すことができる
- **主体的に関わる学習者**：確かな根拠に基づく意見を形成し、変化の激しい現代社会の課題に主体的に向き合うことができる

シラバスの目的

この科目は、生徒が次の能力を身につけることを目指しています：

- 現代的なトピックの文脈を通して英語への理解を深め、自信を持って英語を運用する力
- 地域・国内・国際的な文脈における幅広いテーマを考察し探究する力
- 異なる視点から書かれた資料を読むことで、現代の諸課題への幅広い視座を持つ
- 主体的な思考力・論理的推論力
- 解釈・分析・評価・説得のスキル
- 体系的に論述し、合理的な説明を提示し、証拠として適切な情報を選択する力
- 自らの考えを明確に表現し、他者の見解について考察する力

学習内容の概要

学習者は次の3つの幅広いテーマについて知識と理解を深めます：

1. 経済的、歴史的、道徳的、政治的および社会的な問題
2. 科学（その歴史、哲学、倫理、基本原理および応用を含む）、環境問題、テクノロジー、数学
3. 文学、言語、芸術、工芸、メディア

学習者はこれらのテーマを国内および国際的な文脈の中で考察します。また、他教科で学んだ知識や理解も活用することが求められます。

これらの幅広いテーマを学ぶことで、学習者は英語による効果的な読解力と文章表現力を身につけます。
様々な情報・考え方・意見を分析・評価するとともに、論証を構築する方法を学びます。

裏面につづく ▶

1. この内容は、Cambridge International AS Level English General Paperシラバス（2028〜2030年版）に基づいています。最新の更新情報や詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。
https://www.cambridgeinternational.org/programmes-and-qualifications/cambridge-international-as-and-a-level-general-paper-as-level-only-8021/

CAMBRIDGE

Cambridge International AS & A Level 科目紹介

English General Paper（英語論理・表現) (ASレベルのみ) 8021

評価目標

評価目標	配点（%）
情報の選択と活用	29
分析と評価	33
英語による文章コミュニケーション	38
合計	100

既習科目

この科目を履修する生徒には、Cambridge IGCSEあるいは同等レベルで幅広い科目の学習を終えていること、またその中には、IGCSE English as a Second LanguageまたはIGCSE First Language Englishが含まれていることが、推奨されます。

授業としての学習時間

180時間の指導学習時間（教師の指導のもとで進める学習時間）が推奨されます。
これはあくまで目安であり、学校の方針や生徒の既習科目によって必要な時間は異なります。

試験時期

試験は 6 月 と 11 月 のシリーズで受験できます。

© Cambridge University Press & Assessment 2026